

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
交通需要論	人はなぜ移動し、いかにして交通手段を選択するのか	栗田 善吉	2年次後期
講義の目的	本講義では、交通需要とはどのような特性を持った需要なのか、他の消費財に対する需要と、どのような点が異なるのかについて理解することが第一の目的です。次いで、人はなぜ移動するのか、移動する際にどのような基準で移動手段である交通機関を選択（需要）するのか、利用者の意思決定メカニズムについて理解を深めることが第二の目的です。さらに、しばしば交通需要予測が行われますが、その目的と意義について理解してもらいます。		
目標到達	これからの交通ネットワークの整備について、その是非およびどのような点を重視して整備したらよいか、自ら考えられる力を身につける。		
講義の内容	今や、インターネットを通じて、買い物や会議ができる環境が整えられ、移動しなくても生活やビジネスの面で用事が足りる場面も見受けられます。しかしながら、いかに通信手段が発達しても、移動なくして事が済まないこともあります。人はなぜ移動するのか、また、移動する際にどのような交通機関を選択するのかについて、基礎的な理論を踏まえながら、分かりやすく説明していきます。さらに、受講生の関心の高い交通問題についてテーマを設定し、ディスカッションを行います。		
講義スケジュール	第1講	オリエンテーション（講義の進め方、留意点、講義内容等の説明）	
	第2講	交通サービスの需要について	
	第3講	交通需要発生メカニズム（なぜ人は移動するのか）	
	第4講	交通目的（移動目的）の種類（都市圏交通、都市間交通）	
	第5講	交通需要統計（旅客輸送量統計）と用語、見方について（鉄道、バス）	
	第6講	交通需要統計（旅客輸送量統計）と用語、見方について（タクシー、航空）	
	第7講	交通機関選択要因	
	第8講	移動に伴う費用と時間価値の概念Ⅰ（時間価値とは）	
	第9講	移動に伴う費用と時間価値の概念Ⅱ（時間価値と交通機関選択要因の関係）	
	第10講	交通需要予測について	
	第11講	交通需要の変動要因について	
	第12講	交通需要管理政策	
	第13講	交通問題に関するディスカッション（例：都市圏交通）	
	第14講	交通問題に関するディスカッション（例：地域交通）	
	第15講	まとめと総復習	
方法指導	プリントを配布すると共に、パワーポイントによるスライドを活用しながら講義を進めます。配布するプリントは不完全な内容であり、重要事項について講義を受けながら完全なノートを作成する形式とします。		
授業外学習	交通需要は国内景気動向の変化と密接な関係にあります。国内経済の動向について、景気が良くなっているのか悪くなっているのか、ニュースや新聞等を通して日頃から関心を持って下さい。		
成績評価方法	評価の方法は、本試験（筆記試験）80%、平常点（ディスカッション時の意見をまとめたレポート）20%で評価します。		
ステキ	毎回、プリントを配布しますので、特に指定しません。		
書籍参考	山内弘隆・竹内健蔵著「交通経済学」、有斐閣、2002		
事項記	交通統計、特に旅客輸送量の統計に慣れ親しむよう、心掛けて下さい。		